

## 基本目標4 生涯を通じた男女のこころとからだの健康支援

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を踏まえ、男女が互いの身体的性差を十分理解し合い、相手に対する思いやりを持てるよう情報提供や学習機会の充実を図ります。また、性的マイノリティ、性の多様性についての理解を深める取組を推進します。

施策の基本的方向・具体的施策・施策内容		平成29年度実施状況 (実施○、未実施—)
<b>⑦生涯を通じた男女の健康の保持・増進のための支援</b>		
(13) 女性の健康保持のための事業の充実		
32	ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面することの重要性を、男性を含め社会全体が認識できるよう啓発や情報提供に努めます	○
33	妊娠・出産期における健康支援を充実します	○
34	乳がん、子宮がん検診の重要性について意識づけを行うとともに、検診を受けやすいよう環境整備に努めます	○
(14) 性差に応じた健康支援の推進		
35	性差による疾病や症状等に対し、相談に応じるとともに医療機関等の情報提供を行います	○
36	男女それぞれが相談しやすい窓口の整備や情報提供に努めます	○
(15) 生涯にわたるスポーツ活動の推進		
37	地域の中で男女がともに多世代でスポーツに親しめる環境を整備します	○
(16) 食育の推進		
38	男女がともに健全な食生活を営むための能力を育む支援をします	○
<b>⑧こころとからだの健康に関する学習機会と情報の提供</b>		
(17) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）という考え方の浸透		
39	多様な機会等を活用し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての啓発に努めます	○
(18) 健康保持のための健康教育、健康相談等の推進		
40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します	○
41	高齢者がリフレッシュできる場とその情報を提供します	○
(19) 思春期におけるこころとからだの健康づくり		
42	年齢に応じた性教育を推進します	○
43	子どもの成長の段階を踏まえ、思春期の人工妊娠中絶やH I V感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます	○
(20) 性的マイノリティの理解推進と支援		
44	学校教育や社会教育等において、性的マイノリティへの理解が進むよう学習機会を提供するとともに、様々な機会を活用して理解推進のための啓発活動を行います。また、トイレ等の環境の整備を図ります	○

実施内容

施策番号	施策内容	平成30年度の取組 (新規事業は濃く表示しています)	平成29年度の取組実績 (新規事業は濃く表示しています)	担当課
32	ライフサイクルを通じて男性とは異なる健康上の問題に直面することの重要性を、男性を含め社会全体が認識できるよう啓発や情報提供に努めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高年世代を対象とした講座を通じて、女性及び男性の性差に応じた健康保持の重要性の啓発を行う。</li> <li>・関係機関と連携し、リーフレット等を市民に配布し、情報提供を行う。</li> <li>・関係機関と連携し、講座の開催を通じて、こころとからだの健康支援に努める。</li> </ul>	<p>広く市民等を対象に、男女共同参画に関する講座等を開催した。</p> <p>〔実施講座名〕セクシャリティの多様性 〔実施日〕平成29年6月12日 〔参加者〕28人</p> <p>〔実施講座名〕アンガーマネジメント講座 〔実施日〕①平成29年6月1日②7月6日 〔参加者〕①89人②48人</p> <p>〔実施講座名〕ゆるやか女子ゼミナール（生きづらさを感じる女性対象講座） 〔実施日〕6月～12月（月1回・全7回） 〔参加者〕のべ58人</p>	人権・男女共生課
		女性に特有な健康上の問題についての啓発や情報提供に努める。	健康づくりセミナー（パパ&ママクラス）において実施した。 〔実施回数〕4回 〔参加者〕886人	保健医療課
			事業実施時に、資料配布にて情報提供を行った。 〔実施事業名〕 ・パパ&ママクラス ・妊娠届出時等面談 〔実施実績〕 ・パパ&ママクラス 446人 ・妊娠届出者 2,644人	保健医療課
33	妊娠・出産期における健康支援を充実します	専任保健師・助産師等が母子健康手帳交付時面談の際に必要な保健指導を行うとともに、子育てプランシートを交付し、両親教室（パパ&ママクラス）、新生児訪問指導等の母子保健事業を通じて、産後うつ等妊娠・出産期の健康課題について情報提供を行う。また、産科医療機関との連携、市民ニーズの把握等を踏まえ、切れ目のない支援の充実に努める。	<b>子育て世代包括支援事業（利用者支援事業（母子保健型））では、妊娠の届出及び転入のため妊婦健康診査受診券の交付申請を行った妊婦等に対して面談を実施し、子育てプランシートの作成、子育て支援情報の提供、必要な支援のコーディネート等を行った。</b> 【再掲 施策番号26】	保健医療課
34	乳がん、子宮がん検診の重要性について意識づけを行うとともに、検診を受けやすいよう環境整備に努めます	市広報に同封する健診ガイドや乳がん、子宮がん検診のはがきや受診勧奨はがきの送付によって、意識づけの向上を図る。また、レディース5がん検診や保育付き検診の実施など、引き続き受診しやすい環境整備に努める。	市広報に同封する健診ガイドや乳がん、子宮がん検診のはがきや受診勧奨はがきを送付。また、レディース5がん検診や保育付き検診を実施	保健医療課
35	性差による疾病や症状等に対し、相談に応じるとともに医療機関等の情報提供を行います	性差による疾病や症状に対し、相談や医療機関等の情報提供に努める。	医師・歯科医師・薬剤師による来所型の健康相談を実施した。 〔事業実施名〕総合健康相談 〔実施回数〕6回 〔参加者数〕20人	保健医療課
36	男女それぞれが相談しやすい窓口の整備や情報提供に努めます	女性のための相談（電話・面接）の充実を図る。	女性のための相談（電話・面接等）の充実を図った。 〔実施事業名〕ローズWAM相談事業 〔事業内容〕①女性面接相談②女性電話相談 〔相談件数〕①545件②1190件	人権・男女共生課
		男性のための電話相談を実施する。	男性の電話相談を実施した。 〔実施事業名〕ローズWAM相談事業 〔事業内容〕男性性電話相談 〔相談件数〕44件	人権・男女共生課

施策番号	施策内容	平成30年度の取組 (新規事業は濃く表示しています)	平成29年度の取組実績 (新規事業は濃く表示しています)	担当課
37	地域の中で男女がともに多世代でスポーツに親しめる環境を整備します	地域でのスポーツ活動に対して支援をします。 〔実施事業名〕地区スポーツ・レクリエーション大会 〔実施地区〕32地区	地域でのスポーツ活動に対して支援をした。 〔実施事業名〕地区スポーツ・レクリエーション大会 〔実施地区〕30地区 〔参加人数〕37,670人 〔実施場所〕市内各小学校運動場	スポーツ推進課
38	男女がともに健全な食生活を営むための能力を育む支援をします	地域での健康イベントや出前講座等で食事バランス診断S A Tシステムを使用した食事バランス診断や取り組みやすい食事の実践方法等をアドバイス	食育に関する講義等を実施した。 〔事業実施名〕 ①健康づくりセミナー ②食育システム出前講座 ③食育啓発 〔実施回数〕 ①4回 ②24回 ③9回 〔参加者〕 ①517人②625人③878人	保健医療課
		保育所等において食育年間計画を作成し、栄養士と連携しながら食育活動を進めていく。保育所・幼稚園においては、園児が食べることを楽しみにできるように日々の生活の中で食にかかわる体験や栽培活動に取り組む。	保育所等において食育年間計画を作成し、栄養士と連携しながら食育活動を進めた。保育所・幼稚園においては、園児が食べることを楽しみにできるように日々の生活の中で食にかかわる体験や栽培活動に取り組んだ。	保育幼稚園総務課
39	多様な機会等を活用し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての啓発に努めます	・ホームページ等でリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発を行う。  ・関係機関と連携し、リーフレット等を市民に配布し、啓発を行う。	未実施	人権・男女共生課
		・保健師等が妊産婦及び乳幼児の保護者に対する保健指導を通し、情報提供に努める。また、不妊治療等の相談窓口についてホームページで周知・啓発する。	妊産婦や乳幼児の保護者に対する保健指導を実施した。 〔実施事業名〕母子保健事業 〔実施回数〕 訪問指導 6,161件 面接指導 819件 電話指導 7,822件 特定不妊治療費助成 122件 不育症治療費助成 6件	保健医療課
		若年者の妊娠などをテーマにした思春期教育勉強会を実施する。	思春期保健教育の実施に向けて、関係機関と連携し検討を行った。	人権・男女共生課 保健医療課
40	生涯を通じて、自分の健康は自分で適切に管理できるよう、正確な知識や情報を提供するとともに、教育・学習を推進します	健康に関する講座を実施する。	広く市民等を対象に、男女共同参画に関する講座等を開催した。 【再掲 施策番号32】	人権・男女共生課
		様々な啓発活動の機会を利用し、健康管理等についての知識や情報の提供等に努める。	健康に関する講座等を実施した。 〔事業実施名〕 ①健康づくりセミナー ②若年健診結果説明会 ③健康づくり出前講座 ④健診時禁煙相談 ⑤こころの相談室 ⑥栄養相談 〔実施回数〕 ①4回②12回③35回④60回⑤21回⑥17回 〔参加者〕 ①886人②104人③897人④248人⑤28人⑥53人	保健医療課
		さらに食育や健康教育を推進するため、媒体を用いてより具体的な教育を実践する。	食育や健康教育を推進するため、使用媒体（食品模型等）を研究した。	保育幼稚園総務課
		食育や健康教育を推進する。	食育や健康教育を推進した。	学校教育推進課

施策番号	施策内容	平成30年度の取組 (新規事業は濃く表示しています)	平成29年度の取組実績 (新規事業は濃く表示しています)	担当課
41	高齢者がリフレッシュできる場とその情報を提供します	介護予防教室を開催し、介護予防や健康づくりに関する情報を提供するとともに、運動によるリフレッシュを図る。	介護予防教室を開催した。 ①介護予防健康運動教室 〔実施回数〕 605回 〔参加者〕 11,422人 ②はつらつ教室等 〔実施回数〕 647回 〔参加者〕 12,709人	長寿介護課 (高齢者支援課)
42	年齢に応じた性教育を推進します	・場面や必要性に応じて体の大切さを伝えていく。 ・絵本等を通じて、日々の保育の中で推進する。 ・健康診断や身体測定等で自分の体を知り、その大切さに気付く機会を持つ	使用教材の選定に十分配慮し、園児の主体的な遊びをとおして、一人ひとりを大切に仲間づくりに努めた。	保育幼稚園総務課
		人権教育授業プラン集パートⅡを活用して性教育を実施する。	人権教育授業プラン集パートⅡを配布し、児童・生徒の発達段階に応じた性教育を推進した。	学校教育推進課
43	子どもの成長の段階を踏まえ、思春期の人工妊娠中絶やHIV感染症を含む性感染症、薬物乱用、喫煙、飲酒等について正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう、学習機会の提供や指導に努めます	・小・中学校と連携した思春期保健教育の実施について研究する。 ・小・中学校における喫煙防止教育を支援するため、資料提供を実施する。	・思春期保健教育の実施に向けて、人権・男女共生課等と連携し、今後の取組を検討した。 ・小中学校の喫煙防止教育を、教材貸出の形で、学校教育の支援を実施した。 〔事業実施名〕教材貸出 〔実施回数〕3回 〔参加者〕483人	保健医療課
		関係機関と連携し薬物乱用・喫煙・飲酒の防止に努めるとともに、エイズ教育を実施する。	関係機関と連携し、小中学校で薬物乱用防止教室の開催に努めるとともに、エイズ教育を推進した。	学校教育推進課
44	学校教育や社会教育等において、性的マイノリティへの理解が進むよう学習機会を提供するとともに、様々な機会を活用して理解推進のための啓発活動を行います。また、トイレ等の環境の整備を図ります	性的マイノリティについての講座を開催し、理解を深める取組を行う。	広く市民等を対象に、性的マイノリティに関する講座等を開催した。 〔実施講座名〕セクシャリティの多様性 【再掲 施策番号32】	人権・男女共生課
		セクシャルマイノリティに関する学習指導案を扱った「人権教育授業プラン集パートⅡ」の活用を促進する。	さまざまな人権学習の具体的な取組みのモデル案を示した「人権教育授業プラン集パートⅡ」を教職員に配布し、人権課題の一つであるセクシャルマイノリティへの理解促進を図った。	学校教育推進課